

古代の絵画表現についてー烏丸綾小路遺跡出土の絵画土器からー

(公財)京都市埋蔵文化財研究所 中谷 正和

1. はじめに

京都市中京区に所在する烏丸綾小路遺跡からは、弥生時代の「絵画」土器が出土しています。大きな注目を集めた烏丸綾小路遺跡の絵画土器ですが、それには何が描かれており、そこからどんなことがわかるのでしょうか？今回の発表ではこの絵画土器を出発点として、弥生時代の文化や習俗について考えたいと思います。

1. 烏丸綾小路遺跡出土の絵画土器

- ・出土した遺跡と出土状況
- ・何を描いた土器か？

3. 弥生絵画の物語表現

- ・物語表現の作法
- ・物語の内容について

2. 弥生時代の絵画表現の特徴

- ・弥生人の絵は上手？
- ・近位感覚による絵画表現

4. 絵画土器が写す風景

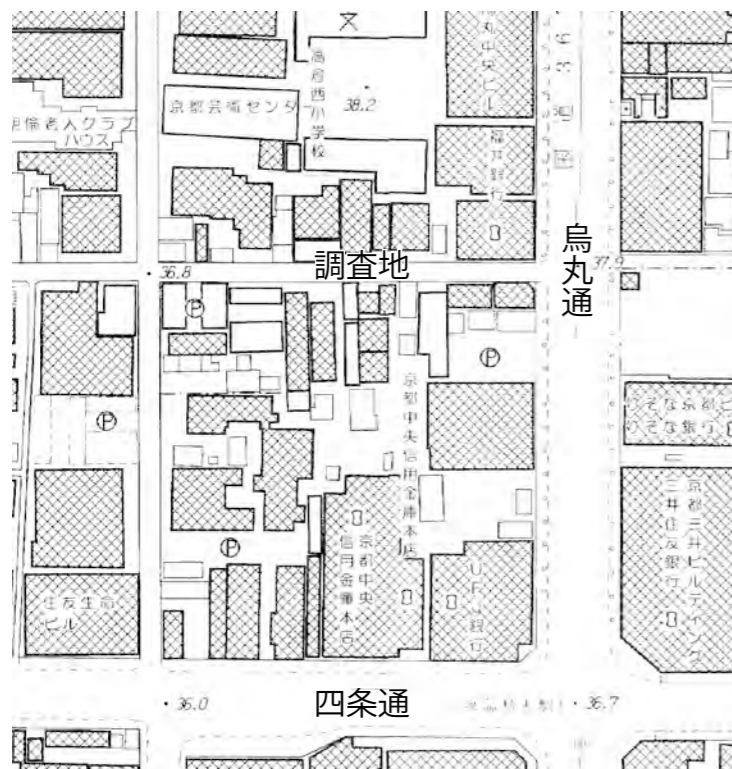


図1 調査位置図 (1/2500) 文献①



図2 遺構位置図 (1/300) 文献①

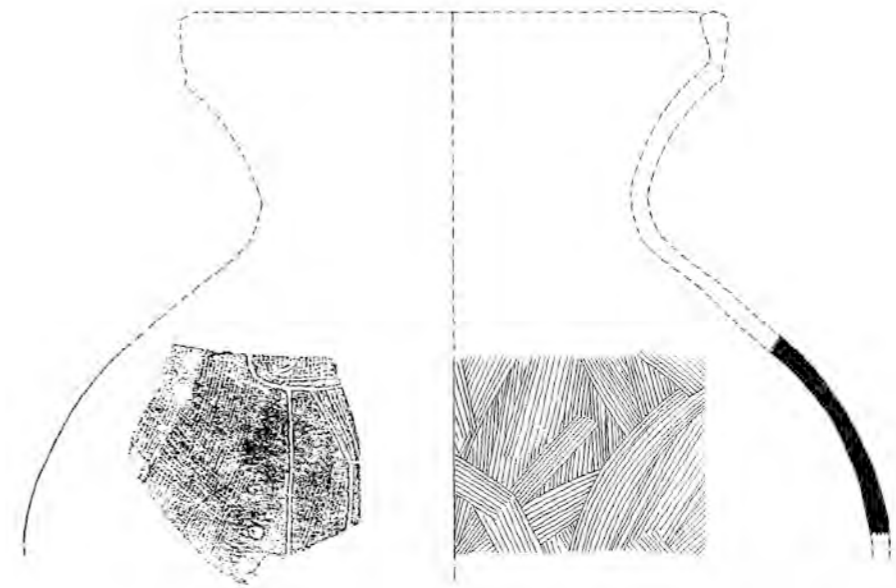


図3 烏丸綾小路遺跡出土の絵画土器実測図 (1/4) 文献①



図4 烏丸綾小路遺跡出土の絵画土器と発表者復元案 (縮尺不同)



図5 弥生土器や銅鐸に描かれた建物 (1/4) 文献②



図6 奈良県唐古・鍵遺跡の大型建物復元模型 文献③

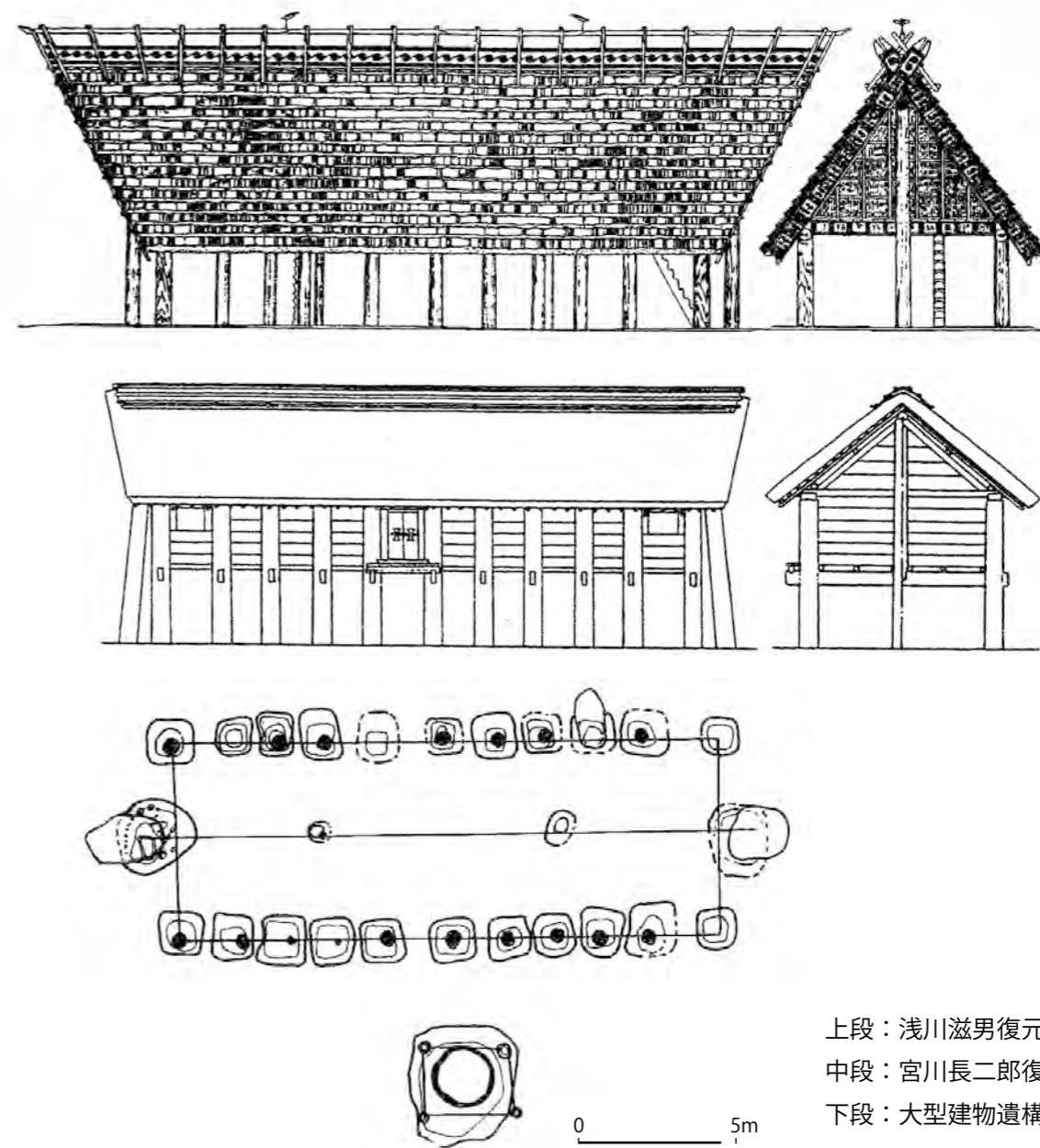
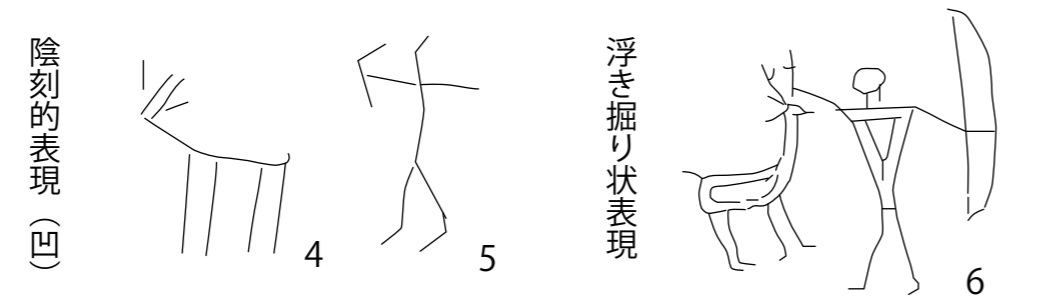
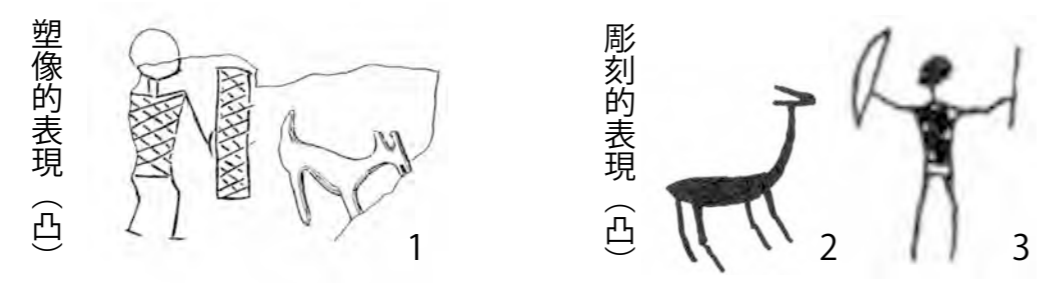
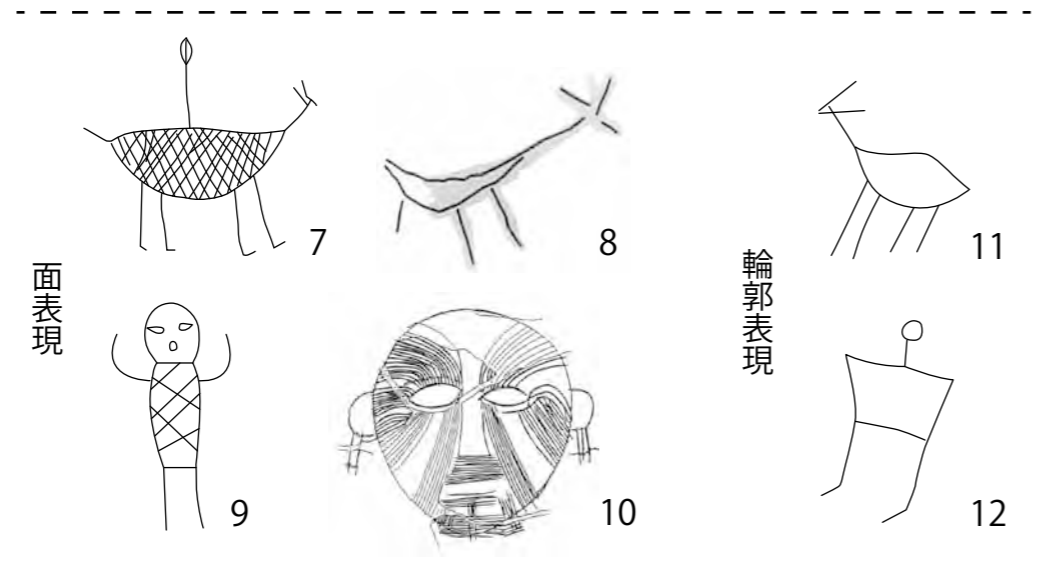


図7 大阪府池上曾根遺跡の大型建物復元案 文献②・④

浮き彫り

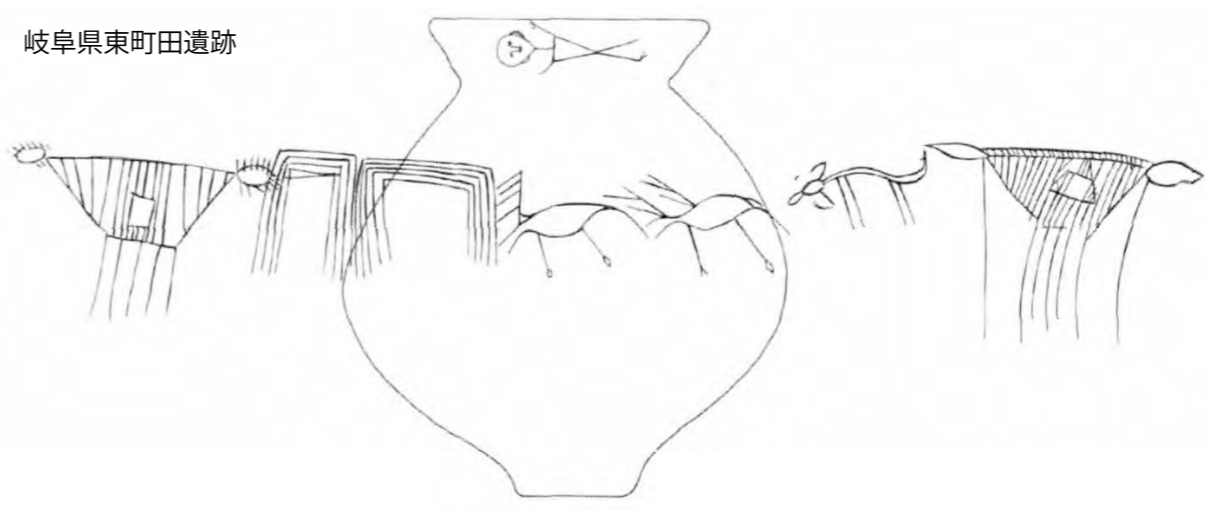
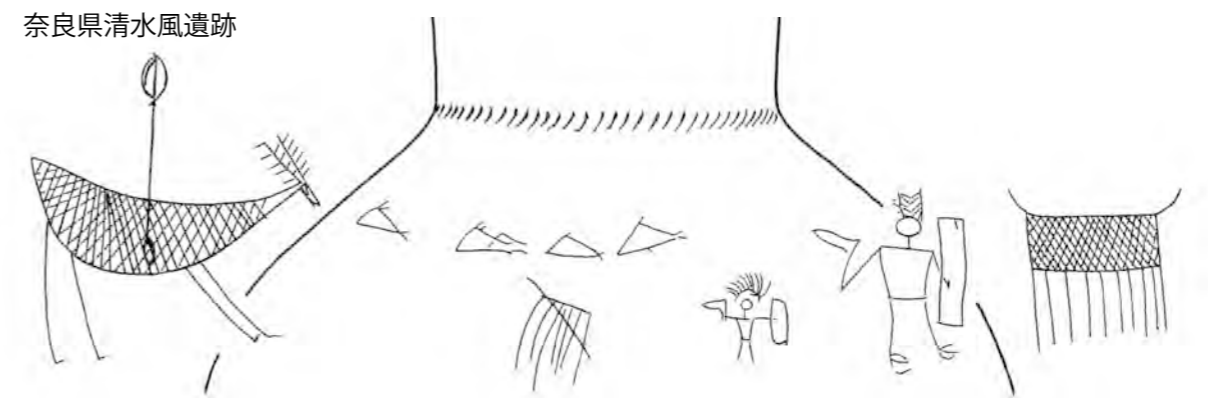


線刻



- 1. 大阪府平野遺跡
- 2. 兵庫県桜ヶ丘神岡1号銅鐸
- 3. 兵庫県桜ヶ丘神岡1号銅鐸
- 4. 福岡県三沢ハサコの宮遺跡
- 5. 三重県上箕田遺跡
- 6. 兵庫県桜ヶ丘神岡5号銅鐸
- 7. 奈良県清水風遺跡
- 8. 愛知県一色青海遺跡
- 9. 奈良県唐古・鍵遺跡
- 10. 愛知県亀塚遺跡
- 11. 兵庫県桜ヶ丘神岡2号銅鐸
- 12. 奈良県清水風遺跡

図8 弥生時代の絵画表現 (縮尺不同)



奈良県唐古・鍵遺跡

兵庫県養久山・前地遺跡

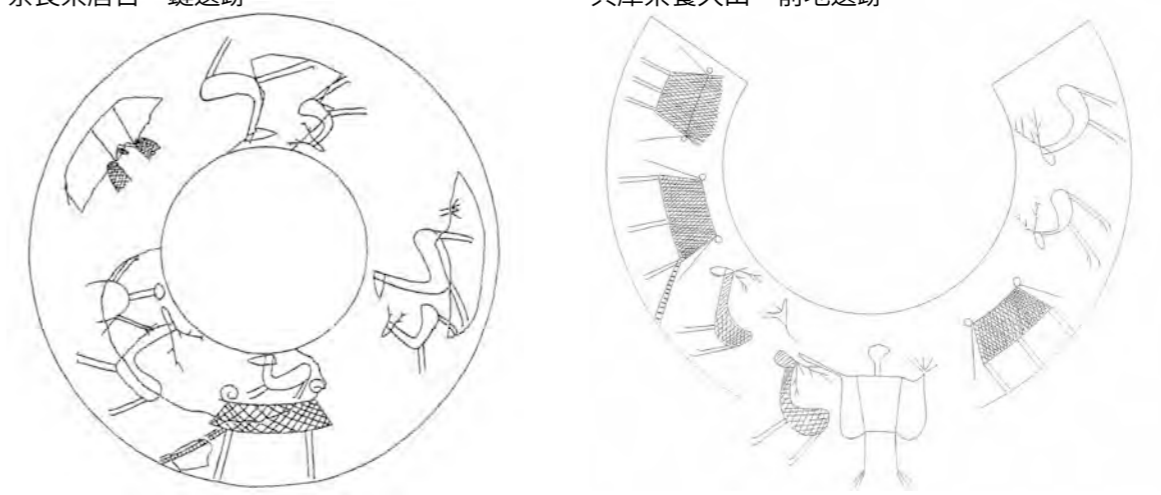
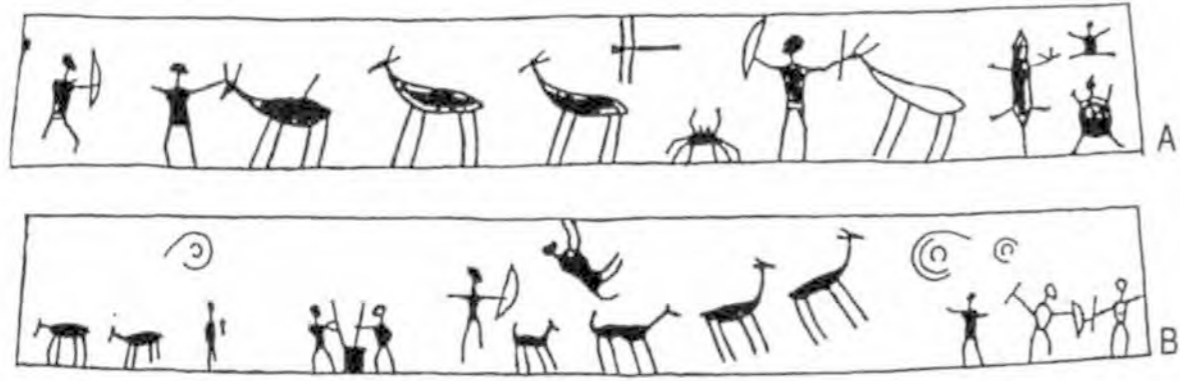


図9 弥生土器に描かれた「物語絵」(縮尺不同) 文献⑤・⑥・⑦・⑧・⑨

兵庫県桜ヶ丘神岡1号銅鐸



兵庫県桜ヶ丘神岡5号銅鐸

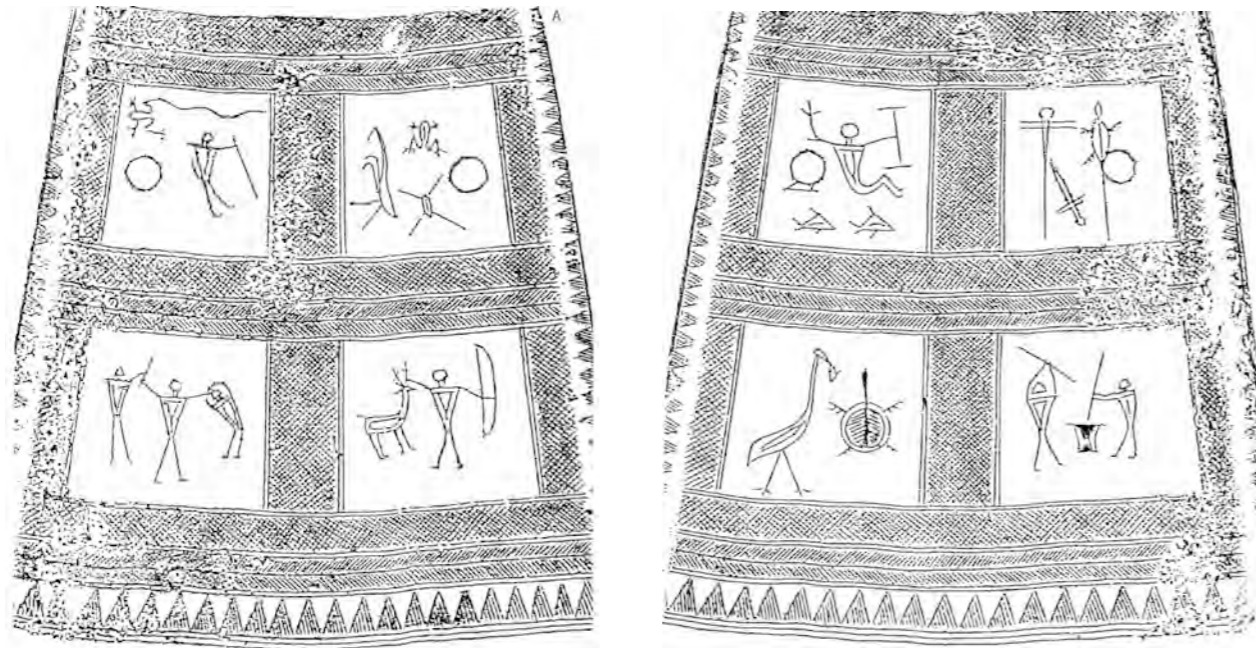


図10 銅鐸に描かれた「物語絵」(縮尺不同) 文献⑩

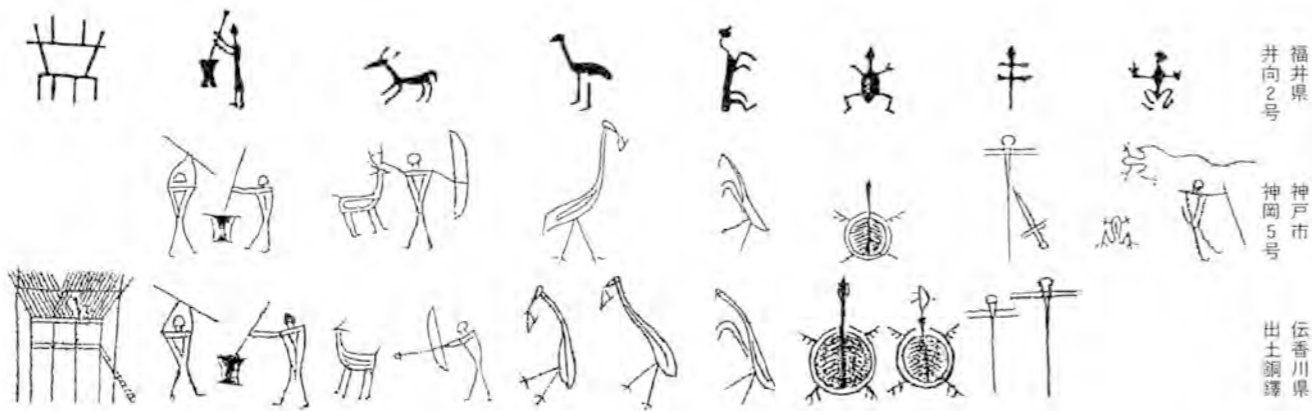


図11 銅鐸に描かれた「物語絵」の比較(縮尺不同) 文献⑩

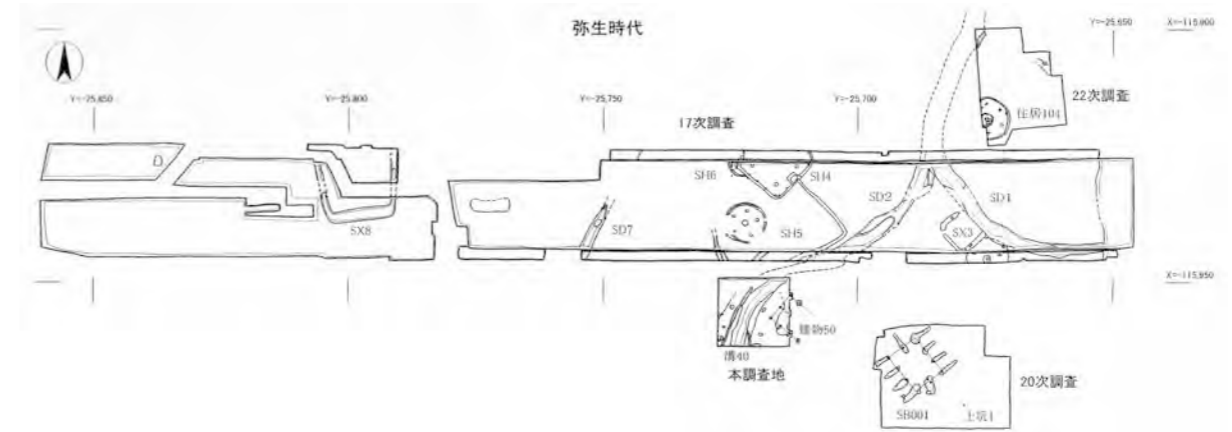


図12 京都市大藪遺跡遺構配置図(1/1500) 文献⑪

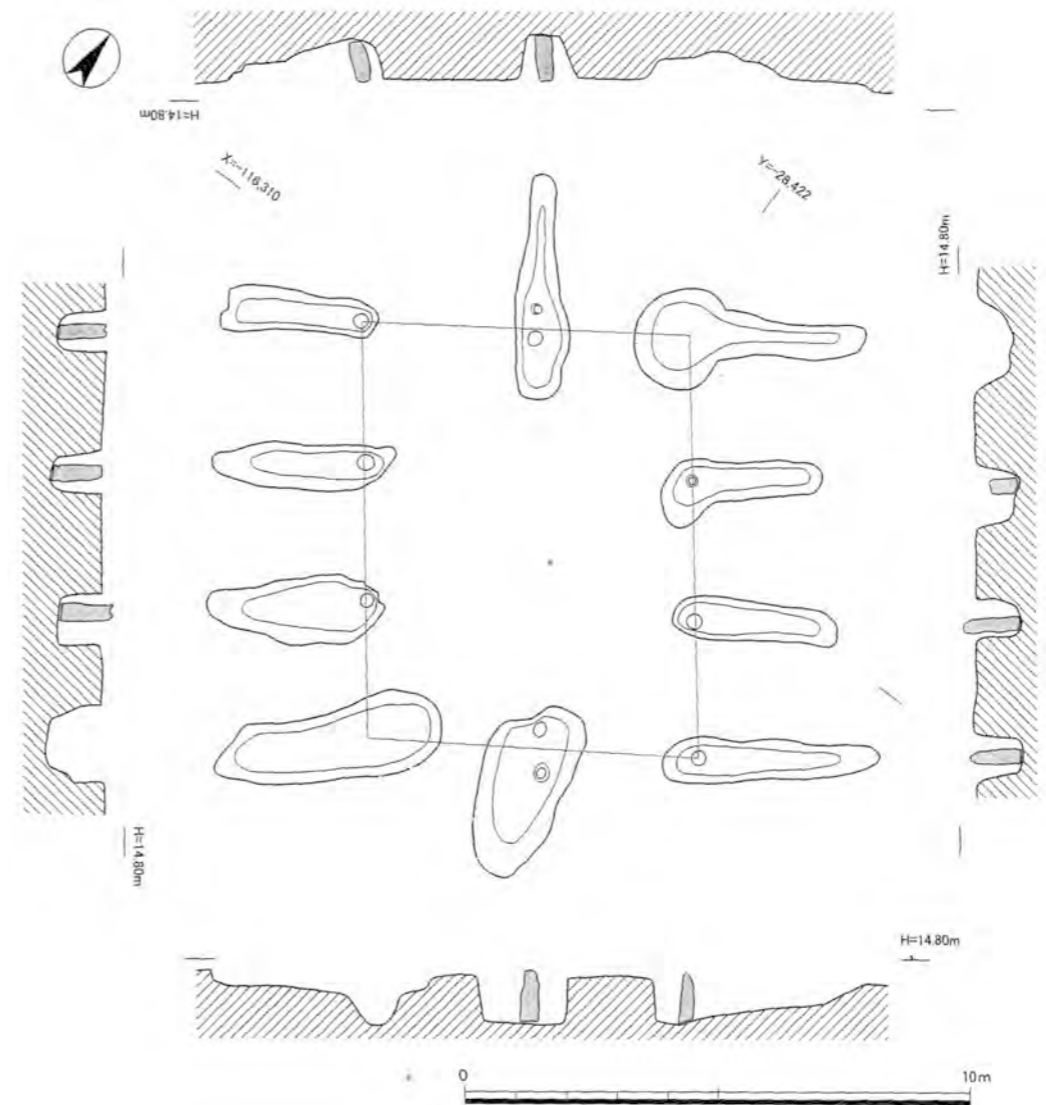


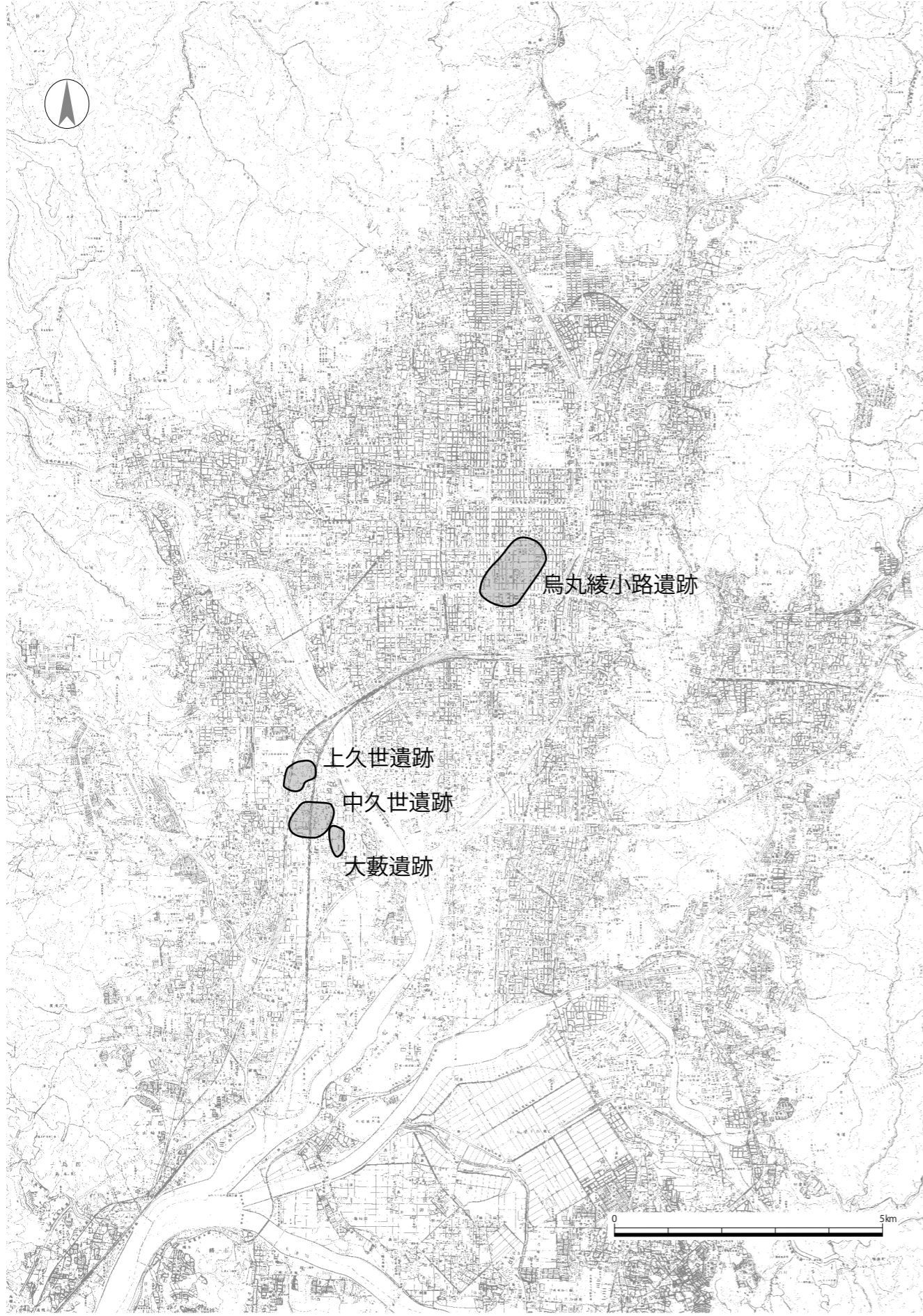
図13 京都市大藪遺跡検出の棟持柱付掘立柱建物(1/150) 文献⑪

## ●図面で引用した文献

- 文献① 伊藤潔ほか、「左京四条三坊十一町」、『京都市内遺跡立会調査概報』平成4年度、(財)京都市埋蔵文化財研究所編、京都市文化観光局、1993年。
- 文献② 広瀬和雄編、『都市と神殿の誕生』、新人物往来社、1998年。
- 文献③ 滋賀県立安土城考古博物館編、『大型建物から見えてくるもの 一弥生時代のまつりと社会一』、2009年。
- 文献④ 浅川滋男編、『先史日本の住居とその周辺』、同成社、1998年。
- 文献⑤ 香芝市二上山博物館編、『弥生人の鳥獣戯画』、雄山閣、1996年。
- 文献⑥ 佐原真・春成秀爾、『歴史発掘5 原始絵画』、講談社、1997年。
- 文献⑦ 大垣市教育委員会、『東町田遺跡出土 絵画土器』資料レジュメ、2014年。
- 文献⑧ 春成秀爾、『祭り呪術の考古学』、塙書店、2011年。
- 文献⑨ 兵庫県立考古博物館編、『特別展 古代祭祀の世界』、2009年。
- 文献⑩ 国立歴史民俗博物館編、『歴博フォーラム 銅鐸の絵を読み解く』、小学館、1997年。
- 文献⑪ 上村和直、「大藪遺跡」、『京都市内遺跡発掘調査報告』平成24年度、(財)京都市埋蔵文化財研究所編、京都市文化市民局、2013年。
- 文献⑫ 白石太一郎、『古墳からみた倭国の形成と展開』、敬文舎、2013年。

## ●その他、参考にした文献

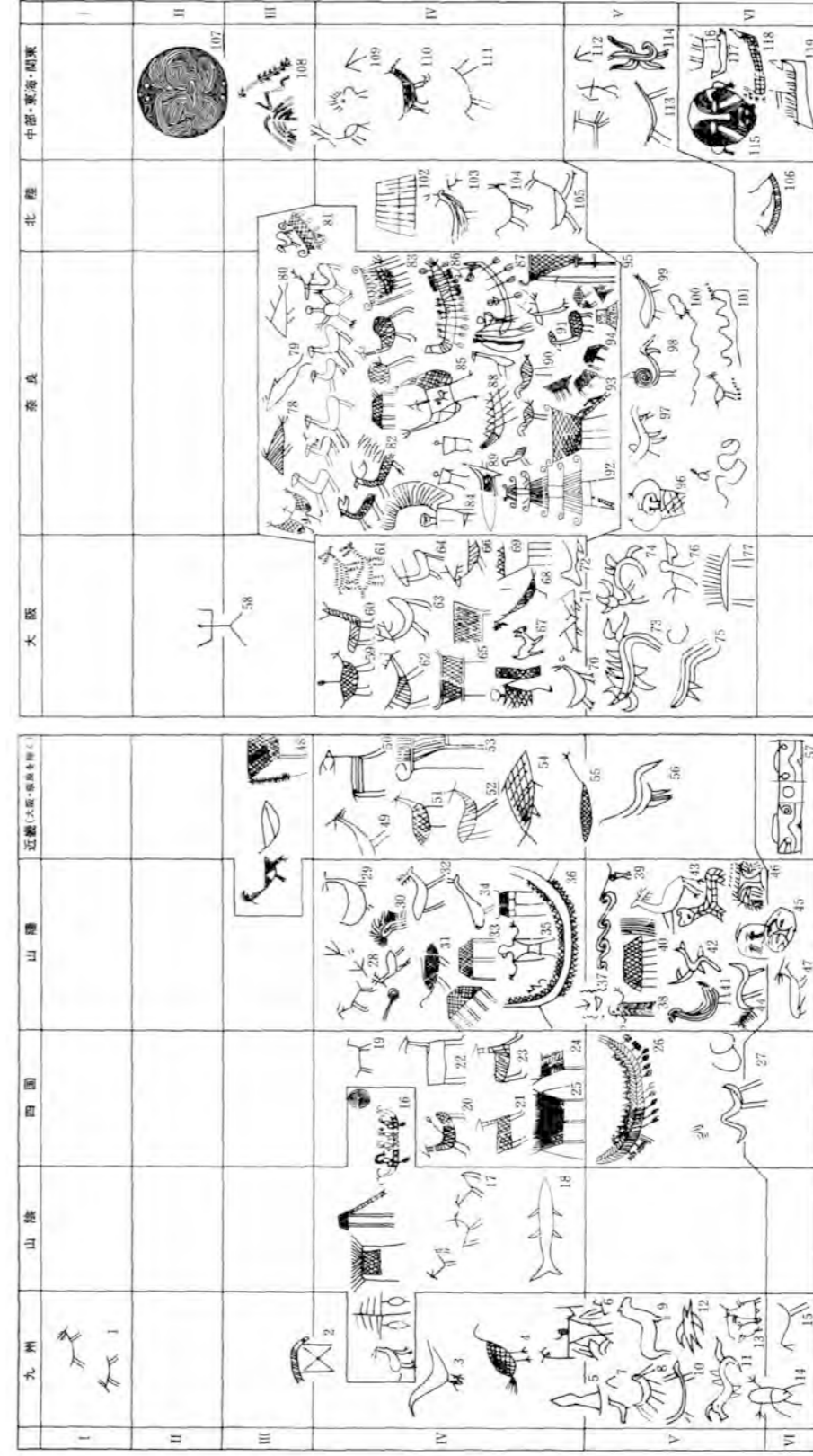
- アロイス・リーグル (井面信行訳)、『末期ローマの美術工芸』、中央公論美術出版、2007年。
- ウィルヘルム・ヴォリンガー (草薙正夫訳)、『抽象と感情移入 一東洋芸術と西洋芸術一』、岩波書店、1953年。
- エルンスト・ゴンブリッチ (瀬戸慶久訳)、『芸術と幻影』、岩崎美術社、1979年。
- 金関 恕、「弥生土器絵画における家屋の表現」、『国立歴史民俗博物館研究報告』7、国立歴史民俗博物館編、1985年。
- クルト・ワイツマン (辻成史訳)、『古代・中世の挿絵芸術 一その起源と展開一』、中央公論美術出版、2007年。
- (公財)京都市埋蔵文化財研究所編、『京を発掘！出土品から見た歴史 京都市埋蔵文化財研究所発掘現場より』、京都新聞出版センター、2015年。
- 佐原 真、『佐原真の仕事3 美術の考古学』、金関恕・春成秀爾編、岩波書店、2005年。
- 佐原 真、『銅鐸の考古学』、東京大学出版会、2002年。
- 設楽博己編、『原始絵画の研究 論考編』、六一書房、2006年。
- 高畑 勲、『十二世紀のアニメーション 一国宝絵巻物に見る映画的・アニメ的なるもの一』、徳間書店、1999年。
- 竹内清乃編、『別冊太陽 日本美術史入門』、平凡社、2014年。
- 辰巳和弘、『埴輪と絵画の古代学』、白水社、1992年。
- 坪井清足編、『日本美術全集1 原始・古代の美術 土器と埴輪』、学習研究社、1980年。
- 長尾寛子、「中国・日本絵画における時間表現の類型」、『広島大学大学院教育学研究科紀要』51、2002年。
- ハインリヒ・ヴェルフリン (梅津忠雄訳)、『美術史の基礎概念』、慶應義塾大学出版会、2000年。
- 樋上 昇、「稲沢市一色青海遺跡出土の絵画土器について」、『研究紀要』11、(公益)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター、2010年。
- フランツ・ボアズ (大村敬一訳)、『プリミティブ アート』、言叢社、2011年。
- フランツ・ボアズ (前野佳彦編・監訳)、『北米インディアンの神話文化』、中央公論新社、2013年。
- 村田幸子、「弥生時代絵画の一断面」、『日本考古学』33、日本考古学協会、2012年。



付図1 発表で言及した遺跡 (1/100,000)

西暦	従来の炭素年代	較正年代	
		縄文時代	弥生時代
13,000		草創期	
10,000		早期	
5,000		前期	
4,500		前期	
4,000		中期	
3,500		中期	
3,000		後期	
2,500		後期	
2,000			
1,500			
1,000			
900			
800			
700			
600			
500			
400			
300			
200			
100			
B.C.1			
A.D.1			
200			

従来の炭素年代と較正年代の比較  
従来の炭素年代と較正年代  
では、縄文時代のはじまりで2000年、  
弥生時代では500年もの差がある。



※ここに挙げた弥生絵画は、報告書・概報・屋敷会図録・報告記事および写真などに掲載されたものをもとに構本が作図した。推定弥生元始は細線で表現した。  
※縦軸の時期区分のうち、I期は弥生時代前期、II～IV期は中期、V期は後期、VI期は終末期に該当する。なお、VI期から古墳時代が始まるという学説がある。

※複数の素材で構成されているものについては、原則として各図右下に番号を付しているが、例外として、35は人物と建物の間、82は鹿と建物の間、91は鹿と鹿の間、94は建物と建物の間に番号を付している。

付図2 弥生土器に描かれた絵 文献⑤・⑫